

阿佐谷ジャズストリート2023 ボランティアスタッフのみなさまへ

阿佐谷ジャズストリートは、みんなの力で街をジャズで盛り上げるイベントです。
来場した皆さまに喜んでいただけるように、自分たちも楽しみながら一緒にがんばりましょう！

■活動内容

- ①会場設営と撤収、清掃など
※力仕事もあり 腰痛などの方はあらかじめ会場責任者へお知らせください。
- ②受付・チケット対応
- ③来場者の誘導
* 全会場、自由席です。
* 途中入場される方は、演奏中は避けるなどしてご案内してください。
- ④感染症対策(換気等)
- ⑤道案内および会場周辺の交通整理など
- ⑥その他(チラシ配布、スタッフ食事配達等)

■服装

- ①スタッフジャンパー・名札をお貸しします。必ず当日返却をお願いします。
- ②疲れにくい靴で身軽に！季節柄、寒暖差にもお気を付けてください。
- ③貴重品はご自分で管理をお願いします。

■注意事項

- ①体調の不調の時は無理をせずにお休みください。会場で体調不良になったときは早めに会場責任者にお知らせください。
- ②非常口・避難経路を会場責任者がご案内しますので、確認しておいてください。
- ③わからないことがあったら実行委員に質問して確認してください。
- ④遅刻、欠席は必ず各会場責任者へ連絡してください。

- ♡食事、水はご用意します。
- ♡お客様には出来るだけ明るく笑顔で接しましょう。

■よく聞かれる質問

Q: 次の会場へ、どう行ったらいいですか？

A: プログラム裏のマップを示してご案内してください。

Q: 無料の会場はどこで何をやっていますか？

A: 「ストリート会場」と言って、プログラムのP.4,5に書いてあります。

会場は、マップ(プログラムの裏面)緑の○印です。P.4, 5の番号と連動しています。

Q: このお店はどこですか？

A: マップの青の○印です。P10,11の番号と連動しています。

お店ごとに、業態や料金が違うこととお話しし、プログラムのp10, 11を見ていただくとともに、詳しくはお店で聞いてくださいと伝えてください。

Q: (各)会場へは、どのくらいかかりますか？

A: JR阿佐ヶ谷駅～青梅街道までが10分くらいと伝え、おおよそそれを半径として、ほかの会場も目安にしてもらいましょう。

遠い会場は、地図にも所要時間が書いてあります。それも参考にしてください。サクサク歩いたの時間なので、探しながらだともう少しかかります。

Q: JR阿佐ヶ谷駅周辺にトイレはありますか？

A: 南口噴水広場内、ビーンズ(くるく⇒駅改札西側 てくて⇒駅改札中杉通りを渡って東側)内にあります。

Q: わからないことを聞かれたとき

A: ①プログラムをご覧くださいと言って、一緒に見る。

②複雑なことを聞かれたときは「自分はこの会場のボランティアです。すべては把握できていないくて申し訳ありません」と、言ってください。それでもさらに聞きたいと言われたら、実行委員を呼んでください。

【参考】読みにくい会場名・出演者

会場: 神明宮 ⇒ しんめいぐう

会場: 久遠キリスト教会 ⇒ くおんキリスト教会

出演者: HIBI★Chazz-K ⇒ ひびちゃづけ (阿佐谷中学校)

阿佐谷ジャズストリート2023の歴史と概要

今年も10月20日(金)21日(土)両日に、「阿佐谷ジャズストリート2023」(第29回)を開催することになりました。

第1回を開催した1995年以来、地元のみなさまの暖かいご支援に育てられてきたイベントです。今年も、笑顔あふれるイベントになりますよう、ご協力、ご理解を、よろしくお願いします。

■合言葉は「阿佐谷をジャズで明るく元気なまちに」

第1回 阿佐谷ジャズストリートを開催した1995年、阿佐谷の街に逆風が吹いていました。

事件を起こした宗教団体の存在から暗いイメージが付きまとい、土曜日曜祝日はJR中央線が阿佐ヶ谷駅に停車しなくなった年でした。そこで、「阿佐谷をジャズで明るく元気なまちに」を合言葉に、地元住人有志が、杉並区役所職員有志の方と一緒に「実行委員会」を立ち上げて始めたのが、このイベントです。

■手作りで息の長いイベントに

阿佐谷ジャズストリートは、小さな力を出し合うことが、「長く続けること」「街おこしに役立つこと」「音楽好きな人の輪が広がること」につながると信じています。

出演者の出演料は、パブリック会場チケットの販売代金でまかなってきました。プログラム、ポスター、チラシなど印刷物の制作費は広告料と協賛金を充てています。

そして、無償ボランティアである実行委員が、各自の仕事の合間に運営している、手作りの音楽祭が「阿佐谷ジャズストリート」なのです。

■ボランティアが会場設営・運営する音楽祭

実行委員が「当日は有線放送をジャズにしてもらえませんか？」と、喫茶店などをお願いして歩き、ジャズのカセットテープを配り、手弁当で始めた阿佐谷ジャズストリート。

阿佐谷に音楽ホールはありませんので、学校や教会、公共施設の会議室などを特設の演奏会場に設営します。椅子並べ、音響機器搬入なども、すべて無償ボランティアが行っています。

その手作りのスタイルは一貫していますが、2019年25回目は69会場、出演者1000人以上、ボランティア200人。2020年26回目は26会場、700人と規模は縮小しましたが、ボランティアは例年とほぼ同じ200人近くが結集し、一人の感染者も出すことなく開催できました。残念ながら2021年は感染症が蔓延していたため中止でしたが、2022年は2年ぶりに開催しました。

■今年も無事故で成功させたい

台風に見舞われる年もあります。暴風雨の中、出演者の皆さんとお客様の安全を第一に考えて、屋外の演奏は中止した年もありました。一人の怪我人も出さずにすみましたが、残念ながら、赤字となった年も何回かありました。安全で楽しいイベントに出来ますように、黒字になりますようにと、実行委員一同、力を合わせて準備しています。最も重視している「安全確保」のためには、ボランティアスタッフをはじめとする多くの方の協力が不可欠です。

■観客数7万人「街おこし」に貢献するイベント

晴天であれば、観客数は約7万人です。2022年は、コロナ禍の中ではありましたが、47会場で約30,000の方がジャズを楽しみました。地元、近隣だけではなく、全国各地からのお客様も増えています。ジャズストリートをきっかけに、阿佐谷に引っ越して来る人もいます。

■半径500mに55会場(2023年予定) 会場は3種類です

- 1 「パブリック会場」 有料会場。会場ごとに別料金。(10会場)

- 2 「ストリート会場」 ディキシーバンド巡回、広場や路上等の無料会場。(10会場)
 - 3 「バラエティ会場」 飲食店やライブハウスなど、各店別料金の有料会場。(35会場)
- そのほか2日間、ディキシーバンドが街を練り歩きます。

■ジャズが「ふるさとの音楽」に

阿佐谷では、ライブハウスや飲食店、商店街や食品スーパーでも、ジャズが流れています。JR阿佐ヶ谷駅の発車ベルは、2014年から、ジャズアレンジの「たなばたさま」に変わりました。小中学生が学芸会でジャズを演奏し、吹奏楽部のレパートリーにジャズが加わって来ています。パールセンター商店街を小中学生の描いたタペストリーが飾る「ジャズアート展」も、恒例の関連イベントとして定着。図工・美術の先生、商店街と協力して開催しています。親から子へ、子から孫へ、世代を超えて楽しめる音楽、ジャズの魅力が広がっています。

■ご理解とご協力を得られるよう謙虚な気持ちで

しかし当然のことながら、地元住人の方が、どなたも「ジャズが大好き」というわけではありません。近隣の方にご理解をいただこうと、演奏会場の周りに、お断りのチラシをポスティングするなど努力をしておりますが、毎年、謙虚な気持ちでイベントを開催しなくてはなりません。

■「お客様の笑顔がご褒美」という価値観

イベントにトラブルはつきものですが、同じ苦勞を共にした仲間ができます。「お客様の笑顔こそが最高のご褒美！」そんな価値観を共有できる人間同士でイベントを運営したいと願っています。阿佐谷ジャズストリートの主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



小田陽子さんとお客様／聖ペテロ教会



2023年10月8日
阿佐谷ジャズストリート2023実行委員会
実行委員長 渡辺功一

〒166-0004
杉並区 阿佐谷南1-36-10
阿佐ヶ谷わがふるさと館4F
TEL/FAX 03-5305-5075